



宮原良治司教認可  
発行所 福岡司教区本部  
福岡市中央区浄水通6-28  
発行 人  
カトリック福岡司教区  
編集人 森山信三  
TEL 092-522-4059  
FAX 092-523-2152  
振替口座 01760-6-20729  
カトリック福岡司教区  
定価 一部60円

12月の意向  
【一般】犠牲にされる子どもたち  
【宣教】救い主の到来の準備  
【日本の教会】エイズに関心を持つ  
教皇様の意向のために祈りましょう

イエスの「招き」に答へて祈るために  
M・マタタ神父を迎えて福岡教区司祭の黙想会



祭が選んだのは、「招き」だった。信仰年にあたって、色々なことが言われてきたが、イエスからの招きということばかり強調されてこなかった。しかし、とても大切なテーマであるということ、初心者のためカテキズムでもあるマルコ福音書を用い、世俗化、グローバル化、諸宗教の時代の今、もう一度皆で初心者に戻ってイエスの神秘を見つめて

福岡教区司祭の黙想会が10月28日(月)〜11月1日(金)、福岡黙想の家で開催され、今回初参加となる李助祭と30人近くの司祭が参加した。指導はオリエンタリヤ宗教研究所長のムケンゲシャイ・マタタ神父(淳心会)。

マタタ神父は、マタイの召命がそうであるように、イエスの招きは罪人の招きであることと指摘した。私たちは、自分の弱さを悔い改め、「天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者となりたい」というイエスの招きに、へりくだり、祈りながら、聖霊の助けのもと従うことが必要なことを説いた。しかし、現実にはそれは難しく、「すべてを捨てて」従うのはとても難しい条件である。イエスも、何度も愛やゆるしについて語っている。愛において自分の貧しさを自覚する者が一番愛に近い。自分が罪人であるという自覚、これがなければ新しい福音宣教は始まらないという指導司祭の話は、胸を打つものがあつた。また、司祭は、本来イエスという「親分の背中」を見ながら従う者であるはずだが、司祭不足の折、目先のことにばかりに捕らわれ、振り返ることもできなくなり、いつの間にか親分よりも先に歩いてはいないかと問い、イエスを見つめ、信徒の声を聴き、福音を実行すること、信徒の養成の大切さ

カリタスジャパンより  
フィリピン台風救援募金のお願い

11月8日、観測史上最大と言われる台風「ハイラン」がフィリピンを襲いました。同国中部の島々に上陸したこの台風は、各地に大きな爪痕を残し、初期の段階の見積もりでも一つの州だけで1万人もの死者、そして数百万人の避難者が報告されています。

この台風による被災地には、先月、マグニチュード7.3の大地震の被害を受けたばかりの地域も含まれています。

最大の被災地では、送電線、電話線、電波塔がすべて倒壊し、通信が非常に困難となっていますが、そのような中、カリタスフィリピンは、カリタス米国と共にスタッフを派遣し、緊急救援の準備を行っています。

カリタスジャパンは、国際カリタス及び現地カリタスと協力して支援を行っていきます。被災状況、国際カリタスの救援活動については、詳細がわかり次第ホームページなどでお知らせ致します。募金受け付け口座は次の通りです。

郵便振替番号：00170-5-95979  
加入者名：カリタスジャパン  
通信欄 □呼びかけ中の募金( )内に、  
〈フィリピン台風〉とご明記ください。

11月16日、約6年の歳月をかけて再建された福岡黙想の家・ザビエル聖堂が、宮原司教区司祭、郡山司教(鹿児島教区)および20数人の司祭団の臨席のもと、献堂された。



ザビエル聖堂献堂式を挙行  
数千人の奉仕が福岡黙想の家聖堂として結実

また、マタタ神父はアフリカのコンゴ出身で、コンゴの教会の歩みと、特に典礼のインカルチュレーションについて、聖歌を交えながら紹介したり、外国人から見た日本の教会についても触れ、興味深い日々を過ごすことができた。

ミサは聖堂を埋め尽くした信徒と聖歌隊による聖堂いっぱいになり、第一に人々の祈りが捧げられ、神との出会いの場として、第二にそれを軸として人と人との関わりが深まっていくことを望んでいく、と語った。続いて、御受難会の創立者十字架の聖パウロの遺骨が祭壇に安置され、祭壇と教会堂の壁への塗油、献香、教会堂内のろうそくへの点火と続いた。ミサに引き続いて



時の話題  
450年前のクリスマス

ポルトガル人宣教師ルイス・フロイスの「日本史」によると、今から400年以上も前の戦国時代、日本で2番目、九州ではじめてのクリスマスが玉名の高瀬でありました。当時の玉名は貿易で栄え、南蛮文化が花開く港町。高瀬や伊倉の町にはポルトガル人や中国人が行き来していましたが、あまり知られていない玉名のキリシタン。歴史のひとコマを朗読劇とシンポジウムで蘇らせます。

12月14日、玉名市民会館において、13時より、まず「タカシエの浦をパレード」が行く」と題して朗読劇に始まり、これは歴史の出来事を「フロイスの日本史」の記述のもと、ステージ上で再現、わかりやすく玉名の歴史のページを伝えようとするものです。続いて基調講演、シンポジウムが行われます。県内の中世、近世史の中で、キリシタンに関する研究は不明な点が多く、地方史の解明の点でも重要な意味を持っています。ほとんど知られていない戦国時代の高瀬のクリスマスについて、第一線の学識者を交え、「高瀬、肥

後北部のキリシタン」と題して学術シンポジウムを開催します。主催は歴史研究団体「熊本キリシタン史研究会」と一般市民、カトリック、プロテスタント諸教会の信徒を中心とした実行委員会が組織されています。また、出演も、カトリック司祭をはじめとして、多彩な顔ぶれとなっています。450年前、高瀬で行われたクリスマスは復元、ふるりの歴史を新たな視点で楽しむことができればと考えています。皆様どうぞお出かけください。

D・マルケット神父(島崎・玉名教会主任司祭)が玉名の高瀬で行われたクリスマスについて、第一線の学識者を交え、「高瀬、肥



元泰星中学高等学校校長 K・ウーリック神父帰天  
イエズス会のキース・ウーリック神父が11月6日(水)、肺炎のため東京ヨロハウスで帰天。享年81歳。1932年7月23日アメリカ・ミシガン州生まれ。50年8月にイエズス会入会、57年6月に来日し、64年3月18日に司祭叙階。福岡教区には83年に泰星学園中学高等学校(現・上智福岡)の英語教諭として赴任。90年から96年まで同学校長を務め、その後広島学園に転任された。なお、追悼ミサが12月1日(日)16時から上智福岡ザビエルホールにて捧げられる。

司祭人事異動  
◆多久・武雄教会小教区管轄者 田中重治(教区本部) (11月より来年3月まで)  
◆多久・武雄教会主任司祭 退任 伊東成晃

日本には、古来から華道や書道などの素晴らしい文化があります。平安時代から「香道」という香りを楽しむ生活文化がありました。最近ではアロマテラピーなど、お家で香りを楽しむ、リラクゼーションの方も増えていると言われています。いわゆる「香木」を一定の作法に基づき鑑賞する「香道」では香りを「かく」と言わずに香りを「きく」と表現するそうです。香りに聞かなくてその答えを「聞く」とすなわち香りと対話するということです。香から立ち上る煙に思いを託し、天に聞き届けてもらおう。「鳩居堂の日本のしきたり豆知識」より―ベツレヘムのマリアとヨセフは幼児イエス様からどんな香りを「きいていた」のでしょうか。お生まれになった場所が、いわゆる馬小屋であったとするならば、その香りは当然、心地よいものではなかったはずで、その香りが「すべて」の出来事を心に納めて、思い巡らしておられたことでしょうか。私たちキリスト者にとって待降節として、降誕節は単に誕生を喜び祝うばかりではなく、「十字架の下に佇むマリア」の心境に思いを馳せながら、理不尽なこと不可解なこともすべて神のみ手の中に委ねておられた聖母の思いに合わせる時でもあると思います。と同時に私たちが周りの人々の「香りに聞く」ことを大切にすることであります。「わたしたちがキリストによって神に献げられる良い香り」(二コリント2・15)となるために。

### カトリックの精神で保育を継続するために 吉塚カトリック保育園舎新築



当保育園は1954年(昭和29年)宗教法人として設立されました。戦後10年、当時の暮らしは全国的にも決して豊かではありません。吉塚地区も貧しい下町という印象でした。当時地域の主だった住人が司教館を訪ね、キリスト教に心のよりどころを求めて幼児教育施設を作って欲しいと要望しました。司教様はこのことを三位一体の聖体宣教女会に伝え、土地を提供するなどして保育園創りを支援しました。この修道会の本部はメキシコにありましたので、当時メキシコからたくさんの方々が派遣されていま

した。地域の事情に不慣れでしたがから保育園運営にはご苦労が多かったと思います。1977年に社会福祉法人としての運営が始まり、そして翌年には鉄筋コンクリート造り3階建の園舎が造られました。またモンテッソーリ教育もこの年から導入されました。修道会によって半世紀以上の長きに渡って経営が続けられてきましたが、2009年シスターの方が高齢を理由に撤退されました。

今日、国や地方自治体は子育て支援に力を注ぎ待機児童を無くす対策を打ち出しています。園児の定員を増やす、一時預かりなどの特別保育事業を行うという条件で補助金が交付されます。園舎が建てられて既に35年が経過してしましたのでこの政策に乗ることにしました。去る11月3日、松井忠之神父様司式による祝別式を行い、引き続き保育園関係者及び地域の方々をお招きした落成式を行いました。お祝いに出席して下さった方々から、保育室がゆったり

### カテキズムを学ぶ③

## 父と子と聖霊のみ名によって

稲垣良典

「父と子と聖霊のみ名によって」という表題を見て、「あ、三位一体の話か、私には難しく解らない神学の問題だ」とお感じになる方がいらっしゃるかもしれません。これからは書くことはその方のためです。まず、「父」と「子」と「聖霊」は神学の用語ではなく、神様の名前、それも神様が御自分で教えて下さった名前です。これがわたしの「存在」そしてわたしがあなたがたと分かち合うのを切に望むわたしの「いのち」を一番よく言

い表す名前です、そう教えて下さった神様の呼び名です。かつて神様は燃える柴の間から預言者モーセに「わたしはある」が御自分の名前だと教えて下さいました。人間となつてわたしたちの間に宿られた神・キリストはあらたに「父」と「子」と「聖霊」という名で神様に呼びかけなさいと教えて下さいました。「父と子と聖霊のみ名によって」と唱える時、「み名」は(日本語の場合は不明瞭ですが)単数であることに注意

している、園庭が広いなどの評価をいただきました。良好な環境で保育をしたいという職員の意向を取り入れたからでしょう。これからも、シスター方が育んでこられた創立の精神、すなわちカトリックの精神を



### 熊本地区神学特別講座開催 食を通していのちを見つめる

講座の一日目は、健康教会でスープ教室「手からこころへ」。二日目は手取教会で伊藤神父様と辰巳先生による「食と霊性」の講座でした。「素材と丹念に向き合いながら、一人はモノの優位に立たない、モノに手引いてもらうのです。」と語られる辰巳先生。そして「自分の命に寄り添うので、それができない人は、人の命にも寄り添うことはできません。」など、先生の数々の言葉が心に深く響きました。今、「いのちのスープ」として医療従事者にも取り入れられているこのスープを試食した人たちの反応、「やさしい味!」とか、引き寄せて

したいと思えます。マタイ福音書28章19節でイエスが弟子たちに「父と子と聖霊のみ名によって洗礼を授け」という箇所も「み名」は単数です。「父」と「子」と「聖霊」というみ名によってキリスト信者が信じて呼びかける神は唯一なる神だからです。唯一なる神において「父」と「子」と「聖霊」と呼ばれるペルソナが区別されることについては、この区別は単にわれわれの側からの区別ではなく、真実の、あるいは実在的な区別であり、しかも神が「一」であることをいささかも損なうどころか、神が「最高に一」なることをわれわれに教えてくれる区別であることは後で

説明します。ここではアウグスティヌスが『三位一体論』の冒頭で「父と子と聖霊なる三つのペルソナが一(なる神)であることの探究においてほかに、最も危険な誤謬が犯されたことは他のどこにもなく、またそれほど大きな労苦を要求するような(困難な)探究は他のひとつもない(こゝまでは多くの人が承知していません)ことを認めた上で、しかし「これほど実り豊かな発見をもたらすような探究も他には何ひとつない」と付け加えていることについて説明しておきたいと思えます。この実り豊かなとは何でしょう。うか。それは信仰に導かれて三位一体の神祕を探究するこ

「無」から創造された、という創造の業によって示されている神の知恵と愛を悟ることができる、ということ。そして最も大事なことは、われわれ人類の救い―それは人となられた「子」と「聖霊」の賜物によって完成されます―について正しく理解することとは三位一体の信仰に導かれることによつてのみ可能だ、ということ。神はその独り子をお与えになったほどに世を愛された(ヨハネ3:16)。この言葉に含まれる神の惜しみなき恵み深さを心から味わうために三位一体について学ぶことが必要なのです。

はなく、「いのちのスープ」の精神をしつかり学びとり、この味が家庭で作られ、家庭が変わり、少しでも社会が変

24日		25日		31日		1日	
降誕前夜	降誕祭	降誕祭	大晦日	大晦日	神の母	神の母	神の母
福岡地区							
糸島	20:00	9:00			10:00		10:00
大古	20:00	10:00			10:00		10:00
菅	19:00	9:30	23:30		10:00		10:00
浄水通	0:00				11:00		10:00
大名町	18:00	10:00			10:00		10:00
能古島	20:30				10:00		10:00
高宮	18:30	10:00			10:00		10:00
茶山	19:00	11:00			10:00		10:00
西新	21:30	16:00	麴				
箱崎	23:30						
光丘	19:00	16:00			15:00		15:00
吉塚	19:00				15:00		15:00
南粕屋	19:00	16:00			15:00		15:00
老司	19:00	8:30			8:30		8:30
	19:30	9:30			9:30		9:30
筑後地区							
今村	19:00	9:00			9:00		10:00
大牟田	19:00	10:00	10:00		10:00		10:00
小郡	20:00	10:00	0:00		10:00		10:00
久留米	19:00	9:00	0:00		10:00		8:00
二日市	22:00				10:00		11:00
本郷	19:30	9:00	0:00		10:00		10:00
	18:30	9:00			10:00		10:00
	21:00						
北九州地区							
飯塚	19:00	10:00			10:00		10:00
黒崎	19:00	9:30	0:00		10:00		10:00
小倉	20:00	9:00	0:00		10:00		10:30
新田原	20:00	9:00	0:00		10:00		9:00
田川	18:00	10:00			9:00		11:00
天神町	21:00	11:00			11:30		
戸畑	20:00	10:00			10:00		10:00
直方	19:30	10:00			10:00		11:15
水巻	19:30	10:00	0:00		10:00		10:00
門司	19:30	9:30			10:00		10:00
湯川	19:00	9:00	0:00		10:00		10:00
橋	20:00	10:00	0:00		10:00		10:00
津	18:00				10:00		10:00
豊津	19:00	20:00			10:00		10:00
若松	19:00	20:00			10:00		10:00
佐賀地区							
伊万里	20:00	10:00			11:00		11:00
鹿島	18:00	11:00			11:00		11:00
唐津	19:00	10:00			10:00		10:00
佐賀	19:30	10:00			11:00		11:00
多久	18:00	11:00			11:00		11:00
武雄	20:00	9:00			9:00		9:00
鳥栖	19:30	9:00	19:30		10:00		10:00
馬渡島	19:00	8:00			8:00		8:00
呼子	19:00	8:00			9:00		9:00
松島		15:00	15:00				
熊本地区							
荒尾		8:00			8:00		8:00
大江	19:00	10:00			10:00		10:00
大津	20:00	10:00			10:00		10:00
池田	19:00	8:30			10:00		10:00
鹿	20:30	10:30			14:00		14:00
健軍	19:30	10:00			10:00		10:00
津	21:00	8:00			8:00		8:00
島崎	19:30	10:00	0:00		11:00		11:00
玉名	19:00	10:00			10:00		10:00
手取	19:00	10:00	0:00		10:00		10:00
	22:00						
人吉	19:00	10:00			11:00		11:00
本渡	19:00	10:00	10:00		10:00		10:00
水俣	20:00	9:00	0:00		10:00		10:00
武蔵ヶ丘	19:30	10:30			10:30		10:30
恵楓園		9:00			9:00		9:00
八代	19:00	10:00			10:00		11:00

### 東京・福岡キャンパスの大神学生全員が結束 2013を閉

の下、感謝の祈りを捧げた。説教に立った山口一彦助祭(さいたま教区)は、石川啄木の短歌や谷川俊太郎の詩を朗読しながら、私たちが何のために生まれたのか、一生かけて何をすべきなのか、神から与えられた使命に気づくよう、静かに論じた。また、当日の福音は「盲人バルテマイ」の話であったが、同助祭は、盲目の実母について紹介し、「心の目」で見ることの大切さ、物事の本質を見るためには肉眼ではなく、信仰の目が必要であると語った。昼食後、子どもたちはゲームや草スキーなどで思う存分遊び、閉会式には、スータンに身を包んだ東京、福岡両キャンパスの全神学生及び養成スタッフを紹介され、壮観であった。参加者一同、また来年も来院すること、神学生のために祈ることを約束して閉会した。



**黙想会のご案内**

☆待降節黙想会☆ 指導:中村克徳神父(御受難会)

- ・泊 12月7日(土)16:00~8日(日)15:00 費用:9,000円(1泊3食含む)
- ・日帰り 12月14日(土)10:00~15:30 費用:4,000円(昼食代含む)

詳細は下記へお問い合わせください。

**カトリック御受難修道会・福岡黙想の家**

〒811-4155 宗像市名残1056-1 Tel 0940-32-3222 (9:30~16:30)・Fax 0940-32-3385  
E-メール fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp

**ミサ用ワイン**

ヴァノ デ ミサ  
**VINO DE MISA**  
スイートタイプ(赤)(白)

ご用命 お問い合わせは  
有限会社 **大楠酒店**  
ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号  
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

**草苑** (SOU-EN)

カトリックのご葬儀  
互助会制度もご利用できます。

**木下株式会社**

TEL 092-526-5656  
〒810-0016  
福岡市中央区平和3丁目1-5

# 感謝の祭儀で神との出会いのものと皆は一つ 信仰年に教区国際ミサを開催



10月20日(日) 大名町教会で、宮原司教司式のもと、参加の司祭団と共に福岡教区国際ミサが捧げられた。このミサは大名町教会で英語ミサを担当するアンナ・ルーさんやパトリシア・フロレスさんから「最近国際ミサがなくて寂しい。みんな一致できる国際ミサを行いたい」との要望が出たことに応え、教区難民移住移動委員会(委員長M・コース神父)で主催する運びとなった。

# 典礼シリーズ⑬

【信仰年】を終えて  
(典礼シリーズの結び)  
第二バチカン公会議の開催50周年を記念して、昨年10月11日から今年11月24日(王であるキリストの祭日)まで祝われた「信仰年」が終了しました。けれども、キリストへの信仰こそが、神の民である教会の基礎であり、「信仰年」の歩みは、今後も続いて行くべきものです。前教皇ベネディクト16世が

「信仰年」の歩みは、今後も続いて行くべきものです。前教皇ベネディクト16世が

設定した「信仰年」は、第二バチカン公会議後の50年の歩みを振り返り、さらに教会が公会議の精神をよりよく生きて行くために、時宜にかなった有意義な年になったと思えます。日本の教会では、第二バチカン公会議公文書の改訂が、今年の9月に発行されたこともあり、第二バチカン公会議がどんな会議であったのかを改めて学ぶ貴重な機会となりました。

第二バチカン公会議の16文書の中に含まれている4つの「憲章」、すなわち、『典礼憲章』(1963年)、『教会憲章』(1964年)、『神の啓示に関する教義憲章』(1965年11月)、『現代世界憲章』(1965年12月)は、公会議が目指している方向性を示しています。

教会の「現代化」を目指す第二バチカン公会議は、「教会生活の頂点であり源泉である典礼」(『典礼憲章』10)の刷新に着手しました。現代社会に生きる人々のために、典礼とは何かを再確認し、その変更不可能な部分と可能な部分を注意深く識別し、変更可能な部分において適応を試みました。同時に、公会議は、

教会の自己理解の刷新に取り組みました。『教会憲章』の冒頭で、「教会はキリストにおけるいわば秘跡、すなわち神との親密な交わりと全人類一致のしるし、道具である」と述べているように(これま

「信仰年」は、第二バチカン公会議がまず自己刷新に取り組んだことを思い起こさせ、それを再スタートさせるため、「世の唯一の救い主に対する誠実で新たな回心への招き」(『信仰の門』6)となったように思います。これからも、典礼がより深い回心と恵みの場として大切にされますように。

佐賀地区信徒協主催の第22回不動山殉教者祈念式が、今年も11月10日(日)に佐賀県嬉野市不動山地区の嬉野市営ふれあい体育センターで開催された。今年も宮原司教は来られなかったものの、佐賀地区長の平田敬師(佐賀教会)が主司式者としてミサを司式し、今年司祭階50周年の金祝を迎えられた堤好治師(呼子教会)とL・マネルバ師(鹿

島教会)の二人がリレー形式で説教を行うユニークなものとなった。信徒は佐賀地区だけでなく長崎教区の植松、湯江などの教会からも参加者があり、総勢1000人を超す参加者によって400年前の殉教者に祈りをささげた。

聖マリア学院大学(久留米市)の学生による「東北ボランティア活動報告会」が11月9日(土)開催された。午前午後2回行われた報告会には学生・教職員、一般市民の計約50人が集まった。

自己理解は、『典礼憲章』の裏りでもあるということができます。さらに「キリストにおけるいわば秘跡である教会」は、キリストが現存して働かれる典礼(とくに秘跡とミサ)から、その活動の目的と力(恵み)を絶えず汲み取り、同時に、神の啓示を委託されている「神の民」として、それを伝達する使命を再確認(「神の啓示に関する教義憲章」)し、現代世界に生きる人々との対話を通して(「現代世界憲章」)、福音宣教に励む姿勢を新たにしました。第二バ

さがミサの参加者に配られた。世界宣教の日でもあった10月20日は、信仰年と共に参加者の心に刻まれた日となった。次回はもっと多くの司祭・修道者・信徒が共に集い、祝うことを望むものである。

われて信徒との交流でにぎわった。

「東日本大震災を忘れない!」  
聖マリア学院大学のボランティア活動報告会

出合いを通じて考えさせられたことを伝えるとともに、震災の出来事を忘れないことが被災された方々への何よりの支援であり、福岡にいても出来る支援を探し、取り組んでいきたいと語った。今、自分達に出来ることの一つとして、会場で陸前高田産の「ガレキホルダー」の販売が行われた。このキーホルダーは、震災によって「瓦礫」となってしまった生活用品(プラスチック製品)を材料として作られている。購入代金の一部(100円)がキーホルダー製作者の収入となること、また身につけることで震災の出来事を忘れないことにつながるため、「ふいりあ」のメンバーが販売を企画した。

☆クリスマスのほし  
サンパウロ 発行  
税込価格 998円

総合建築業  
・一般住宅(新築・改築工事)  
・鉄骨工事  
・RC工事  
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください  
有限会社 森山工務店  
ヨゼフ 森山新太郎  
福岡市早良区四箇1丁目15番28号  
☎(092) 811-7265

不動産全般/売買・賃貸・管理  
存んでもお問い合わせください  
(株)ジャパン・スマイルか  
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子  
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号  
TEL 092-761-8800  
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション  
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。  
春日市天神山 7-91 092-517-6313  
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

本との出会い 人との出会い 神との出会い  
セント・ポール  
FUKUOKA  
キリスト教書籍・信心用具・ビデオ・DVD・CD  
福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F  
平日/AM 10時~PM 5時40分  
日・祝日/AM 11時~PM 4時(水曜日定休日)  
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601  
URL:http://www.pauline.or.jp

☆ふしぎなよる  
セルマ・ラーゲルレーヴ 原作  
女子パウロ会再話  
こいずみるみこ絵  
スウェーデンのノーベル賞作家ラーゲルレーヴの『キリスト伝説集』の中の有名なクリスマス物語。クリスマス夜の、おぼあちゃんが話してくれたふしぎなお話。  
女子パウロ会 発行  
税込価格 1155円

☆クリスマスのほし  
セキヤ よしき文  
ロベルタ・パニョーニ絵  
クリスマス夜の夜、ちびつひつじかいは、星にみちびかれてイエスさまに会いにいけます。リズムカルな文章のかわいらしい抜き絵本。  
ドン・ポスコ社 発行  
税込価格 735円

☆クリスマスのほし  
セキヤ よしき文  
ロベルタ・パニョーニ絵  
クリスマス夜の夜、ちびつひつじかいは、星にみちびかれてイエスさまに会いにいけます。リズムカルな文章のかわいらしい抜き絵本。  
ドン・ポスコ社 発行  
税込価格 735円

☆クリスマスのほし  
セキヤ よしき文  
ロベルタ・パニョーニ絵  
クリスマス夜の夜、ちびつひつじかいは、星にみちびかれてイエスさまに会いにいけます。リズムカルな文章のかわいらしい抜き絵本。  
ドン・ポスコ社 発行  
税込価格 735円

☆クリスマスのほし  
セキヤ よしき文  
ロベルタ・パニョーニ絵  
クリスマス夜の夜、ちびつひつじかいは、星にみちびかれてイエスさまに会いにいけます。リズムカルな文章のかわいらしい抜き絵本。  
ドン・ポスコ社 発行  
税込価格 735円

救いの秘儀を知り、追体験し、生き、伝える III

福岡地区聖書講座

年間テーマ：旧約聖書に親しむ
日時：1月26日(日) 14:00～16:00
講師：森山信三神父(西新教会)
場所：カトリック大名町教会1階講堂
主催：福岡地区信徒使徒職協議会 聖書典礼部会

北九州地区聖書講座

年間テーマ：～イエス・キリストに従って歩む教会～
開かれた共同体へ：「使徒たちの宣教」
第1回 イエス・キリストの共同体の誕生
～「使徒たちの宣教」の紹介を含めて
日時：1月19日(日) 14:00～16:30
講師：寺浜 亮司神父 場所：カトリック小倉教会
主催：北九州信徒使徒職協議会 聖書部会

福岡教区クルシリヨ

日時：2014年1月11日(土) 10:00～13日(月) 16:30
場所：福岡黙想の家
内容：講師の体験事例を通してキリストのいのちをどう生きたかを紹介し、ともに分かち合う3日間です。
1日目 信仰の日(自分自身を知る)
2日目 愛の日(隣人愛を知る)
3日目 希望の日(キリストを知る)
参加費：12,000円(宿泊費・教材費含む)
指導司祭：竹森勇神父(今村教会主任)
申込締切：12月31日
申込先：☎093(592)0316 徳永

カトリック日韓学生交流会

テーマ：Face to Faith
日程：2014年2月21日(金)～25日(火)
場所：福岡教区内 参加費：15,000円
対象：18～30歳の青年(国籍・教区不問)
申込・問合せ先：E-mail: nikkansen2013@gmail.com
大塚了平神父
参加枠に限りがあります。お早めにお申し込みください!

「聖母ご出現の日」をルルドで エドウィン神父(高宮教会)と行く祈りと黙想の旅

日程：2014年2月7日(金)～14日(金)
費用：298,000円(別途燃料サーチャージ料等約5万円)
申込・問合せ先：コムユニティワールド
☎072(863)6667

震災のための祈りのリレー

日時：12月11日(水)
場所：鹿児島市内の教会
問合せ先：fr05abel19ko@yahoo.co.jp / Br 阿部光一

福島家族支援のためのワイン販売のお願い

福岡女性の会では、平成26年度に福島家族支援「博多にきんしゃ〜い2」保養プログラムを計画しています。このワイン販売は「キラキラ星ネット(震災支援団体)」を通してお招きする家族の旅費の一部になります。赤白ワイン 1本2000円
詳しくは、各小教区・地区女性の会までお尋ね下さい。連絡先 090-6468-6841 福島家族支援実行委員会

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

16回にわたり典礼に関するあらゆる質問に丁寧にお答えくださいました白浜神父様の「典礼シリーズ」は今回で終了となります。皆様様に心より感謝申し上げます。この待降節、東日本復興のために祈りましょう。

編集後記

821-4577立山黙想の家(主催)麦の穂会(7つの修道会と信徒が協力して、青年のための黙想会や交流を企画・実施する働きです)

その他

青年黙想会
【日時】1月25日(土) 9時30分～26日(日) 15時(場所)イエス会立山修道院(長崎黙想の家)(対象)キリスト者青年男女(締切)1月20日(定員)15人(会費)7000円(申込先)(申込・連絡先)☎095・821-4577

案内板

会合と催し

12月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 12月
7日(土)～8日(日) 待降節一泊黙想会(参加者募集中)
14日(土) 待降節日帰り黙想会(参加者募集中)
14日(土)～15日(日) 聖マリア在俗会会議 (空室20)
21日(土) 福岡チェナクルム
2014年1月
11日(土)～13日(月) 福岡教区クルシリヨ (空室0)
18日(土) 福岡チェナクルム
※12月30日(月)～2014年1月3日(金)は休館です
\*利用予定によっては充分余裕がある場合があります。
\*宗像市名残1056-1 ☎0940・32・3222 FAX0940・32・3385
Email: fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp

真命山諸宗教対話・霊性交流センター
※祈りの集い
年間テーマ：イエス様に祈りを学ぶ
・日時：12月12日(木) 10時～15時
・内容：神の「幕屋」であるイエス(ヨハネ1・14)
指導者：フランコ・ソットコルノラ神父(真命山院長)
問合せ先：真命山諸宗教対話・霊性交流センター
☎0968・85・3100 FAX0968・85・3186・玉名郡和水町蜻浦1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡
日時：12月7日、21日、1月4日 10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂

1日(日) 待降節第1主日・宣教地司祭育成の日(献金)
今村教会聖堂献堂100周年記念ミサ
駐日教皇庁大使公式訪問(～2日)
2日(月) 駐日教皇庁大使講演会・ミサ(大名町教会)
5日(木) 常任司教委員会(東京)
6日(金) 初金曜日・サーリスの集い
8日(日) 待降節第2主日
福岡海星女子学院創立50周年
無原罪の聖マリアの祭日
9日(月) 召命祈願ミサ(大名町教会19時)
11日(水) †M・コーフィールド[2001年島崎教会]
12日(木) †J・モラハン[2002年水俣教会]
14日(土) 待降節第3主日
正義と平和協議会全国大会実行委員会
待降節第4主日
22日(日) ホーガン神父司祭叙階60周年記念ミサ
玉名教会献堂式
23日(月) 天皇誕生日
24日(火) 主の降誕・夜半のミサ・カテドラルミサ司式
25日(水) 主の降誕
久留米聖マリア病院クリスマスミサ
26日(木) 聖ステファノ殉教者
27日(金) 聖ヨハネ使徒
28日(土) 幼子殉教者
29日(日) 聖家族
2014年1月
1日(水) 神の母聖マリアの祭日・元旦ミサ司式
世界平和の日
†C・バスチ[2002年黒崎教会]
3日(金) 初金曜日・サーリスの集い
5日(日) 主の公現の祭日
■ゴチックは司教日程

福岡

◆聖霊による刷新福岡祈りの集い
【日時】毎週月曜11時(場所)大名町教会1階(内容)賛美と感謝の祈り・聖書のわかちあい(問合せ先)☎092・521・2503 蓮尾
◆心の健康セミナー
【日時】12月1日(日) 14時(場所)福岡黙想の家ログハウス(テーマ)集団の癒やし(講師)小宮豊氏(精神科医師)(参加費)自由献金(主催)心の健康セミナーを支える会(問合せ先)☎0940・32・173 矢田
◆福岡市民クリスマス
【日時】12月7日(土) 14時開演(場所)福岡市民会館(メッセンジャー)万代栄嗣牧師(出演)福岡雙葉学園中高合唱部(問合せ先)☎092・871・2505 福岡市民クリスマス実行委員会
◆クリスマス・オルガン・チャリティーコンサート
【日時】12月8日(日) 17時(場所)カトリック西新教会(演奏)安積道也氏(曲目)J.S.バッハ「小フーガ」、J.バッハ「天のかなたから」など(入場無料。会場自由献金有り)(問合せ先)☎851・8032

◆在セフランシスコ会集會
【日時】12月15日(日) 14時(場所)高宮フランシスコ会修道院在会集會所(指導)エドウィン神父(問合せ先)☎092・843・5831 岩崎
◆ザビエル聖堂講演会
【日時】12月15日(日) 10時～17時(ミサ含む)(場所)福岡黙想の家ザビエル聖堂(講師)古巣馨神父(長崎教区)(テーマ)「わたしにことづてられたもの」高山右近をはじめとする日本の信仰の歴史と信徒発見について(費用)無料(昼食は各自持参)(問合せ先)☎0940・32・3222
◆グレゴリオ聖歌を歌う会
【日時】12月17日(火) 11時(場所)聖クララ寮(内容)待降節のグレゴリオ聖歌講習会(指導)シスター平戸京(問合せ先)☎096・380・5686 堺
◆聖書に集う会
【日時】12月19日(木) 18時30分(場所)サンパウロ福岡宣教センター3階会議室(講師)鈴木信一神父(聖パウロ会)(問合せ先)☎092・721・2031 聖パウロ修道会
◆ラスキン黙想と祈りの集い
【日時】12月27日(金) 20時(場所)大名町教会小聖堂(問合せ先)☎090・2305・5191 プラザー阿部

◆美野島司牧センター
●ホームレスの方に手作りお昼ごはん。毎週火曜日10時30分～越冬期ホームレス支援夜回り毎週金曜日20時●路上からアパートに入居した方を訪問第3土曜日13時(問合せ先)☎092・431・1419 M.コース神父
◆北九州
◆小倉祈りの集い
【日時】12月27日(金) 13時30分(場所)カトリック小倉教会(指導)ガブリエル神父(御受難会)(連絡)☎090・3985・5209 松田
◆北九州召命を共に祈る会
【日時】1月9日(木) 14時※12月は休会(場所)カトリック小倉教会(内容)祈りとミッシング(指導)杉原寛信神父(新田原教会)(連絡先)☎0949・24・9905 藤井
◆佐賀祈りの集い
【日時】12月7日(土) 10時(場所)佐賀カトリック会館(問合せ先)☎0952・30・8347 吉武
◆熊本地区召命を共に祈る会
【日時】12月19日(木) 10時(場所)健康教会(問合せ先)健康教会☎096・368・825 青木悟神父

駐日教皇庁大使ヨゼフ・チェノットウ大司教
福岡教区公式訪問・講演会とミサのご案内
日時：12月2日(月)
10時 信徒、修道者、司祭に向けての講演会
11時 チェノットウ大司教主司式のミサ
場所：カテドラル大名町教会
11月30日(土)～12月2日(月)まで福岡教区を公式訪問される大使による講演とミサです。ふるってご参加ください。

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具
三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
総合周産期医療センター
がん診療連携拠点病院
地域災害拠点病院
\*入院基本料(一般病棟7:1)
〒830-8543
福岡県久留米市津福本町422
TEL0942-35-3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

痛みの相談室
いくま整骨院
平日：9:30～12:00
14:30～20:00
土曜：9:30～15:00
休診：日曜・祝祭日
福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F
TEL 092-884-0134
ベトロ 生熊 吉吉

Gloria in excelsis Deo,
et in terra pax hominibus
12月/1, 8, 15, 22は11:00～15:00で営業。休業日 12/25, 28～1/5
メディアによる福音宣教のために...
サンパウロ福岡宣教センター
10:00～18:00(月～土)/日・祝日休業/地下鉄赤坂駅より徒歩3分\*駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930